

夏まるかじりツアー

8月24日(日) ~ 8月26日(火)

IN 国立曽爾青少年自然の家

	午前	午後	夜
1日目	施設に向け出発	川遊び	レクリエーション
2日目	野外炊飯	ハイキング	キャンドルファイヤー
3日目	清掃・工作	施設を出発・解散	

一日目： 緊張の面持ちの中、約40名の参加者が尼崎に集合しました。そこからバスに乗り込み、自己紹介や、しりとりをしたりグループごとに楽しく過ごしながら施設へと向かいました。施設の近くでバスから降り、川へと移動し川の近くで昼食を済ませ、とみんな楽しみにしていた川遊びを行いました。それまでの緊張も川遊びの楽しさで少しずつほぐれ、たくさんの笑顔が見られました。川遊びが終わると施設へと向かい、夕べの集いに参加しました。夕べの集い後、夕食、お風呂を済ませ、レクリエーションをしました。体全身を使うもの、友達と協力するもの…と様々なゲームに熱中して取り組んでいたため「もう一回、もう一回」という言葉が何度も聞かれました。また、他のグループの友達を応援する声もたくさん聞こえてきました。レクリエーションを終えると、歯磨きなどを済ませ就寝しました。体をたくさん使い疲れたのか、ぐっすり眠っていました。



二日目： 二日目は山のおいしい空気をたくさん吸い込み、元気に挨拶をしてスタートしました。朝食を済ませると、野外炊飯場へと移動し、チキンカレー作りがスタートしました。材料を切る、かまどで火の番をするなど、それぞれに苦戦している様子もありましたが、どのグループもおいしいカレーを作ることができました。カレーを食べ終わった後は後片付け。グループで協力して使った食器や鍋の汚れをきれいに落とし、使う前のようにピカピカにしました。野外炊飯の後は、ハイキングに出かけました。自分たちの背丈と同じくらいの草が周りに生えている道を進み、曽爾高原を一望できる展望台を目指して歩きました。展望台に着くと、絶景を目の前に「やっほー！」と叫んだり、涼しい風を感じ、曽爾高原を体いっぱい感じました。施設に戻り、夕べの集いまでグループタイムと伝え、おしゃべりしたり、ミニゲームをしたり…すっかり仲良くなり楽しく過ごしていました。そして夜はキャンドルファイヤー！たくさんのゲームやダンスをしました。熱中していたため、あっという間に時間が過ぎていきましたが、キャンプの中で一番に盛り上がり、たくさんの笑顔を見ることのできた楽しい時間になりました。



三日目： 最終日は朝から掃除で大忙し！シーツを畳み、荷物を整理し、使った部屋、棟の掃除。みんなで協力し、テキパキとこなしていました。掃除の後は思い出工作、焼き板作りをしました。焼き板を磨き、ポスカでキャンプの思い出を表現しました。川遊びや野外炊飯、キャンドルファイヤーなど楽しかった思い出がたくさん込められており、どれも素敵な物に仕上がっていました。バスに乗るまでに時間があつたため、鬼ごっこをして最後の最後まで思いっきり楽しみました。そしてバスに乗り込み施設にさようならをし、尼崎へと向かいました。バスの中では最後の最後までお友達と楽しもうとする姿が見えました。



<キャンプ総括>

今年もみんなの表情や「楽しかった」という言葉をたくさん伺うことのできたキャンプでした。集合時には緊張と不安も感じられる様子でしたが、川遊びを通してぐっと距離が縮まり、その後の夕食やレクリエーションでは会話がとでも増えました。また、野外炊飯では高学年が低学年をリードする姿が見られたり、キャンドルファイヤーでは楽しみながらも前に立つ人のことを考えたりと、楽しむだけではなく、一緒に楽しむにはどうすればいいのかを段々と考えられるようになっていきました。そして最終日の掃除では、2日間で周りの友達について考えられるようになっていたからこそ、たくさんの場所を協力して掃除し終えることができたのだと思います。解散前に「キャンプ楽しかった」とみんなが笑顔で言っており、そんな風に言えるのも一人ひとりがみんなのことを考えられるようになったからだと思います。これからも活動を通して、子ども達一人ひとりの持つ力や魅力を引き出していけるようにしていきます。

(清水 美里)